



山と暮らそう

お問い合わせ

木曾町移住サポートセンター

〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島5122 ふらっと木曾2階

TEL:0264-24-0216

Web:life-kiso.com

E-mail:info@life-kiso.com



お問い合わせフォームは
こちら

制作:木曾町町民課・木曾町移住サポートセンター

冊子製作協力/写真提供:木曾福島地域協議会・日義地域自治協議会・開田高原地域協議会・三岳地域自治協議会

冊子デザイン:BOCCA

木曾町移住サポートセンターは木曾町から「移住定住事業の業務委託」を受けて運営しています。

個人情報の取り扱い、役場との守秘義務を締結しており、外部に出すことはありません。

また、ホームページやSNSへ掲載する際は、対象者に許可のうえ行います。

山と暮らす 手帳



木曾町移住ハンドブック

KISO-TOWN MIGRATION HANDBOOK

山と暮らす、 ということ

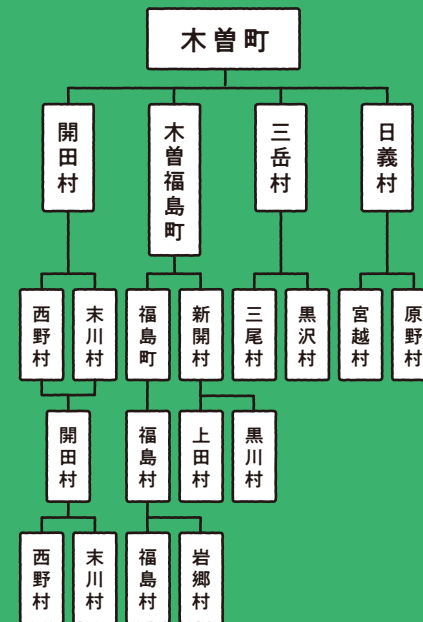
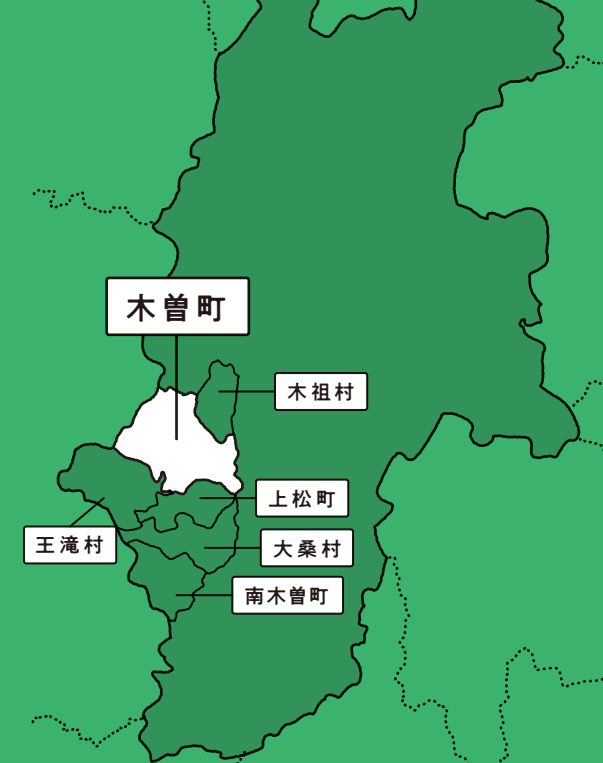
私たちの住む信州木曾町は約90%が森林という自然に囲まれた町です。
かつては木曾檜の産地として林業が盛んになり
全国各地の城や寺社仏閣づくりに貢献してきました。
また、厳しい自然の中で培った、先達の知恵や技術は
発酵食品など独特の食文化や伝統工芸として、現在に受け継がれています。

私たちの暮らしのほとんどは「山」とともにあります。
山を愛し、ときに畏れながら生活してきた私たちにとって、ここは
「山で暮らす」よりも「山」と「暮らす」
そんな言い方がしっくりとくる、とっても素敵なまちです。

信州・木曾町とは？

About Kiso-Town

木曾町は、平成17年(2005年)11月1日に木曾福島町・日義村・開田村・三岳村の4町村が合併して誕生しました。東西に御嶽山・中央アルプス木曾駒ヶ岳がそびえています。町中を木曾川が流れ、その流域に沿って国道19号線とJR中央本線が走っています。また、伊那市と岐阜県高山市を結ぶ国道361号線があり生活や通勤・観光の行き来が盛んに行われています。夏と冬、昼と夜の寒暖の差が大きい内陸性気候です。



木曾町からのアクセス

松本市	🚗 …約1時間20分	🚆 …約1時間	岐阜県高山市	🚗 …約1時間50分(開田地域から約1時間)
塩尻市	🚗 …約55分	🚆 …約40分	東京	🚗 …約3時間30分
伊那市	🚗 …約45分	🚆 …約2時間30分	名古屋	🚗 …約2時間20分
岐阜県中津川市	🚗 …約1時間10分	🚆 …約1時間	大阪	🚗 …約4時間20分
				🚆 …約1時間25分
				🚆 …約2時間30分

木曾町の文化

Culture

木工・林業

総面積の93%が森林で占められる木曾地域では、「木曾ひのき」や「カラマツ」といった、木曾産材を利用した、製材品や木工芸品の製造が盛んに行われています。「木曾おもちゃ美術館」は館内の内装、什器の多くを木曾産材で制作し、木の魅力を伝える「木育」美術館として、利用されています。



木曾おもちゃ美術館

山岳信仰

町のシンボルである霊峰「御嶽山」は、古くからの山岳信仰文化があり、夏には、信仰者が白装束を身にまとい、眼、耳、鼻、舌、身、意の六根を清めるため「六根清浄」と唱えながら登拝する姿が風物詩となっています。



霊峰 御嶽山

木曾馬

現存する日本在来馬8種のうち、本州唯一の在来馬であり、長野県の天然記念物に指定されています。平安時代から乗用・農耕を目的に生産されていた。穏やかな性格で、人に優しい馬であると言われ、木曾馬とともに暮らしてきた文化が根差しています。



木曾馬の里

中山道

平安時代～江戸時代の文化が残っている福島地域・日義地域。また、木曾義仲が幼少時代を過ごしたことから、ゆかりの神社仏閣・史跡が残っています。江戸時代、中山道の関所であった福島関所をはじめとした、江戸の面影が残る街道や文化・建物が残っています。



中山道

発酵食品

木曾町は寒冷地・山間地ならではの伝統的な保存食として発酵食品文化が多く根付いており、「はっこうのまち」とも言われています。発酵食品は免疫力の向上効果などがあり、近年、健康食品として注目されています。代表的なもので、味噌玉で発酵させた「味噌」、塩を使わずに赤カブの葉を乳酸菌発酵させた漬物「すんき」などがあります。



すんき

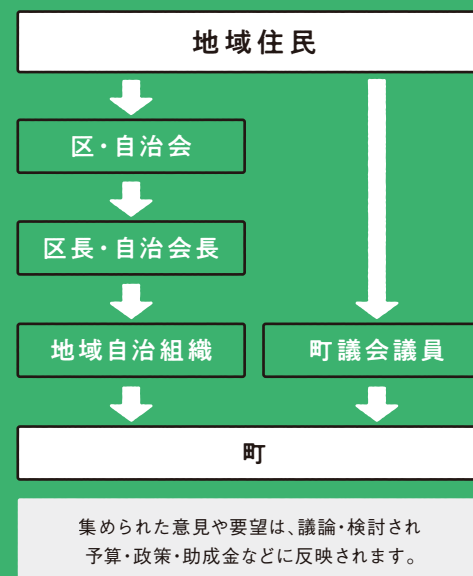
地域自治組織

Self-governance

木曾町では、4地区にそれぞれ「地域自治組織」があり、自治を行っています。



地域自治組織のしくみ



このような流れで町民の意見や要望が行政に届きます。地域ごとに2～3人の選出議員があり、町への要望を伝え、議会で取り上げてもらうように働きかけも可能となっています。

選挙による町議員の選出以外に、自治組織を通して住民の意見や想いを町政に届けることができます。地区代表である区長や組長の会議が定期的に行われ、町民の意見などが伝えられます。木曾町の行政情報は「広報きそまち」「議会だより」「協議会だより」などで情報を得ることができ、情報誌は、住宅のある地域の組・区・自治会に入ることによって回覧や配布または、役場や各支所などでもらうことができるほか、町のホームページからも閲覧いただけます。

日義・開田高原・三岳には役場機能の一部がある支所があり、行政サービス・情報収集・要望ができます。

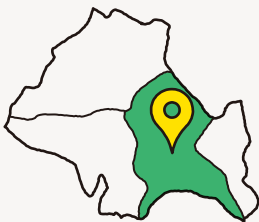
＼ 利便性重視！ ＼

木曾福島地域

移住サポート：木曾福島地域協議会

Kiso-Fukushima Area

人口約5,400人



旧中山道と木曾川が通る谷深い場所にある町。JR駅・町/県の施設があり、買物が徒歩で行ける小さく便利な地域。木曾町での暮らしに不安な方は、まずはここに住んでみるのがおすすめ。



役場本庁



木曾福島駅

生活に欠かせない店舗や施設が揃う

町役場・県施設・警察署・税務署・法務局など公共機関のほか、木曾川を中心にコンビニ・スーパー・銀行・カフェや郵便局、飲食店、図書館が小さくまとまっています。総合病院や介護施設、こども園・小中学校・養護学校・高等学校も近く、さらには林業大学校・看護専門学校などの専門学校もあり、医療・福祉・教育が充実しています。

福島エリア

02 都市部とアクセスしやすい

JR木曾福島駅は、名古屋駅から特急で約1時間25分。名古屋と長野市の中間。週末には新宿行きのバスが1日2本。中京圏、都心などからのアクセスも良好です。



福島開所資料館

03 宿場町として栄えた歴史的なまち

福島宿には江戸時代に関所が置かれ、中山道の中心な場所だったため歴史的な建造物も多く残され、風情ある街並みを楽しむことができます。

その他：場所によっては、市街地から離れるため車が必須です。公共バス [WEB](#) だと10～20分の移動。(公共バスは乗車1回200円)/地域情報誌『自治きそふくしま』 [WEB](#) を隔月で発行。地域密着の情報を収集できます。

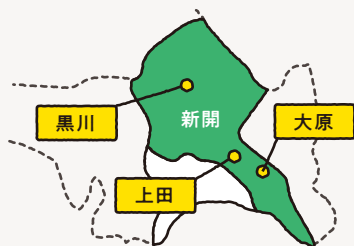
新開エリア

木曾福島地域のなかに「新開」という地域があります。ここは旧新開村だったところで、田や畑が多く、新興住宅地もあります。地元では地区ごとに「黒川」「上田」「大原」と呼ばれています。

上田 町民相撲場があります。主に農村地域ですが新興住宅も多く、日義地域に隣接しています。

大原 木曾駒高原の標高1,000mの地域。滞在型市民農園(クラインガルデン)があります。

黒川 R361号線に沿った地域。木曾福島スキー場・木曾おもちゃ美術館など観光施設があります。



年間イベント/地域活動

- 4月 春の蔵開き
- 5月 ほお葉祭り(～7月)
- 6-7月 夏祭り(地区ごと)
- 7月 白山神社例大祭(黒川)
22-23日:水無神社例大祭(みこしまくろ)/花火大会
- 8月 木曾踊り/木曾音楽祭
- 9月 総合防災訓練/木曾の手仕事市/駅伝大会/運動会
- 10月 文化祭/白山神社秋祭り(黒川)
- 1月 どんど焼き
- 2月 雪灯りの散歩路



福島地域全景



上の段 雪灯りの散歩路



福島商店街

木曾福島地域お役立ちWEBリンク集

このページの [WEB](#) マークのある情報のご確認はこちらから→



センパイ移住者の声

結婚を機に移住しました。最初は「何も無い」と思っていたのですが、今では家庭菜園をしたり、ヤギや鶏を飼ったりと自然豊かな環境を満喫しています。学校は人数が少ない分、先生が親身に寄り添ってくれ、学習支援が必要だといち早く気がついてくれました。一般クラスに通いながら苦手な科目だけ1対1でみてくれるクラスに通級していて、毎日楽しく通っています。

30代 女性

家から見える山々や空、長野の美しい景色を見て大自然に癒されます。春は新緑を見ながら山菜採り、夏は清流で川遊び、秋の紅葉ときのご鍋、冬は雪山でスキーやスノーボード、四季の美しい移り変わりを楽しめます。ご近所さんとも程よい距離感で、朝野菜が玄関前に置いてあったり、干渉しすぎず、見守ってくれている感じがとても良いです。

40代 女性

交流施設を運営しています。木曾町福島地区はネット環境で10ギガあり施設運営にも支障ありません。移住時の助成金や子育て支援策も良くて暮らしやすいと思います。

50代 男性

都会の機能と田舎の良さを合わせもった地域で、観光イベントや交流イベントが多く、垣根が低く親しみやすい雰囲気があります。また企業が集まっているため働く場所も多く、他の地域に住んで福島地域に通動する方もいます。「まずは住んでみたい」という方にもオススメ。1年ぐらい住んで街の雰囲気をみてもみるのも良いのではないのでしょうか？

日義地域

移住サポート：日義地域自治協議会

Hiyoshi Area

人口約 2,100人

中山道の歴史ある宿場町であり、JRの駅が2つ、重要幹線の国道19号が南北に通り、東には伊那市への国道361号線が接続する利便性の高い地域。国道沿いにはドラッグストア、コンビニ、ホームセンター、書店など生活基盤が整い、木曾駒ヶ岳や御嶽山が眺望できる木曾駒高原にはゴルフ場やキャンプ場、文化ホールなどレジャー・文化施設が豊富で、優良農地も多いバランスのとれた地域です。



01 木曾義仲ゆかりの地・宮ノ越宿の風情が残るまち

信濃源氏の武将である木曾義仲(源義仲)は幼少期より宮ノ越で暮らし、旗挙げをしました。墓がある「徳音寺」や「旗竿八幡宮」「南宮神社」「巴淵」など義仲にまつわる史跡が点在しています。宮ノ越宿本陣は木曾で唯一残る本陣で、江戸時代末期の様式で建てられた田中邸と合わせて中山道の風情が残っています。



義仲館

02 地域の構成

日義地域は「宮ノ越」「原野」「木曾駒高原」の3つのエリアで構成されています。

宮ノ越 旧中山道の面影を残す本陣跡がある落ち着いた住宅街。小中学校、こども園、役場日義支所や木曾義仲の歴史資料館「義仲館」WEBがあります。

原野 農地が豊富な地域。新興住宅地、国道沿いに店舗や道の駅などの飲食店があります。

木曾駒高原 別荘、ゴルフ場や木曾駒ヶ岳の登山口、木曾音楽祭などが開催される木曾文化公園があります。



03 木曾駒高原で2つの名峰を堪能！

木曾駒高原では日本百名山の1つである「木曾駒ヶ岳」、霊峰「御嶽山」を眺めることができ、日常の生活の中で木曾の雄大な自然を味わえ、移住者にも人気のエリアです。



木曾駒ヶ岳



御嶽山

その他：こども園・学校・公民館・役場支所が近隣にまとまり、徒歩で通える駅近くのエリアには子育て支援住宅が整備されています。親子で遊べる公園も近く、自然を学べる里山学習も学校教育に取り入れるなど、子育てしやすい環境が整っています。

年間イベント/地域活動

- 6-10月 義仲の里花ばな運動
- 7月 原野八幡宮祭礼
- 8月 木曾義仲旗挙げまつり
- 9月 総合防災訓練/南宮神社祭礼
- 10月 公民館文化祭
- 1月 元旦マラソン・賽の神
- 2月 木曾路氷雪の灯祭り



原野地区全景



徳音寺



道の駅日義 木曾駒高原



本陣



巴淵

日義地域 お役立ちWEBリンク集

このページのWEBマークのある情報のご確認はこちらから→



センパイ移住者の声

日義地域は、塩尻や伊那へのアクセスが良く、買い物や遠出する場合は便利！中央西線の駅が二つあり、アクセスも良いです。日義は、木曾町の中では降雪量は少ないので除雪作業は少なくてよかったです。

40代 女性

季節折々の景色も素晴らしいです。毎日の生活の中で刻々と変化する景色が大変美しく日々心が癒されます。妻と子ども3人と移住しました。今では、妻のほうで田舎暮らしを喜んでいます。子どもたちも、こちらの生活に慣れて自然を満喫しています。

40代 男性

アウトドアが好きで移住しました。釣りやスキー場が近いのが魅力的です。移住前は毎週のように木曾に通っていましたが、フィールドが近くなり前よりも楽しんでます。農地付きの空き家を購入したので、家庭菜園をしています。寒暖差がありトマトなどの野菜が美味しくできます。

50代 男性

伊那市へのアクセスが良いこともあり、近年家を建てて移住される方が増えています。また、こども園と小中学校が近い場所にあり、高校への通学にも2つの駅を利用できるため、子育て世帯にも住みやすい地域になっているほか、子育て支援住宅や、民間のアパート・マンションもあります。現在、2つの区ごとの活動のほか、日義地区全体でお祭りやイベントを行っています。

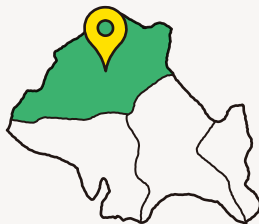
開田高原地域

移住サポート: 開田高原地域協議会

Kaida-kougen Area

人口約 1,400人

四方を山に囲まれた山岳地帯にありながら比較的平坦地が多いことから、この地域を開田高原と呼んでいます。標高1,100mに位置する開田高原の一番の魅力は御嶽山の眺望をはじめとする美しい自然景観にあり、昔を感じさせる、ふるさとらしさが来訪者に感動を与えます。「木曾馬とそばのふるさと」として親しまれています。



この地ならではの! 食と暮らしの文化

昼夜の寒暖差や地形を活かして白菜やトウモロコシ、そばの生産が盛んで、就農しやすく近年は環境にやさしい農業に取り組むかたもWEB。無塩乳酸発酵食品「すんき」発祥の地とも言われています。また、日本在来馬の一つである「木曾馬」が現在でも飼育され、大屋根で馬小屋がついた築100年を超える大きな古民家(空き家バンクに物件がある場合も!)も残っているなど開田高原の自然・食文化と人々の暮らしの知恵が今も息づく地域です。



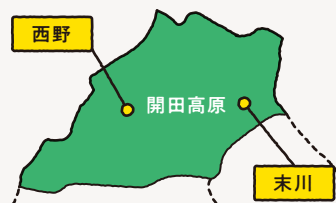
御嶽山と白菊畑

地域の構成

開田高原は大きく分けて、2つのエリアから構成されています。

末川エリア 福島地域と接し、清流「末川」が南下し、御嶽山の眺望も見事。高原野菜や直売所も営まれ、酪農も盛ん。木曾馬の里やゴルフ場など観光スポットが多い。小学校や子ども園、健康増進拠点「木曾おんたけ健康ラボ」などがあります。

西野エリア 岐阜県高山市と接し、清流「西野川」、「把の沢川」が南下、御嶽山の迫力ある眺望を楽しめます。「おんたけ白菜」やそば、とうもろこしが有名。スキー場とその麓の別荘地や温泉施設、そば工場などがある。「山下家住宅」など歴史的文化財に加え中学校や役場支所、JA木曾 開田 営農資材センターなどもあります。



大自然の中で子育てをするには最高の環境!

自然の中での遊びと体験で、知力と体力を育む「信州やまほいく」WEB認定のこども園があり、山遊びや木曾馬との触れ合い等を通じて、のびのびとした子育てをすることができます。



年間イベント/地域活動

- 4月 野焼き(地域による)
- 5月 花いっぱい運動(種まき)
- 6月 球技大会/地区花壇整備
- 7月 西野八幡宮例大祭/熊野神社例大祭
- 9月 総合防災訓練/開田高原文化祭
- 10月 そば刈り/にご作り
- 12月 しめ縄づくり
- 1月 元旦マラソン
- 2月 開田高原かまくら祭り



御嶽山



木曾馬の里

野焼き



蕎麦の花

チャマダラモセリ

開田高原地域 お役立ちWEBリンク集

このページのWEBマークのある情報のご確認はこちらから→



センパイ移住者の声

通勤途中に見える御嶽山や近くの山々、動物達が毎日違う景色を見せてくれ、自然好きには最高だと思います。最寄りのスキー場まで15分。御嶽山登山口まで30分。季節に合わせた遊びが豊富で、開田地域から出なくても満足した休日が過ごせます。

30代 男性

他の木曾地域には無い雰囲気が好きです。特に冬の朝の美しいダイヤモンドダストや霧氷、暖かい家の中から眺める雪景色はとても贅沢。木曾でもトップクラスに寒い地域なので家の断熱は必須。空き家などを購入するなら町の補助金を使って改修を行うことをおすすめします。地区の行事や作業は季節ごとであり、共働きや子育て世帯には参加がむずかしい場合もあるので事前に確認したほうが良いです。

40代 女性

移住10年以上経ちます。はじめのうちは近所のかたも自分たちも遠慮がちであり交流できませんでした。今では交流ができてとても楽しんでます。「開田の山暮らし」をぜひ楽しんでください。

60代 夫婦

歴史ある暮らしが残る一方、40年以上前から多くの移住者がいる地域。伝統ある暮らしや家があり、自然の中での暮らしができます。歴史ある集落では、決まりごとや連帯作業が多く残り、住民で水路掃除や野焼きなどがあります。新しい集落でも清掃やイベントへの参加があります。小学校や子ども園には、木曾馬が遊びに来てくれるなど自然を活かした課外活動が活発です。住民との交流を楽しめる方におすすめな地域です。

三岳地域

移住サポート：三岳地域自治協議会 みたけ未来創造塾

Mitake Area

人口約1,100人



御嶽山、乗鞍岳、木曾駒ヶ岳の三名峰が見られることから名付けられたと言われる「三岳」。梅や南天の産地でもあり、御嶽山の清水が流れ落ちる滝や原生林が生い茂る森など、大自然が残っています。御嶽山ビジターセンター「さとテラス三岳」・おんたけロープウェイ [WEB](#) は、登山の出発地点に。東京大学木曾観測所では星や天文の観測も行われています。

01 「おやま」に抱かれた歴史と自然が間近に息づく

全国から信仰を寄せられる御嶽神社の総本山、御嶽山への登山口（黒沢口）や御岳ロープウェイ、ビジターセンターがあるほか、御嶽山や御嶽山岳信仰にゆかりのある場所が多く、それらを象徴する霊神碑は2万基を超えます。また、冬季に岩肌から湧き出た水が凍る「氷柱群（氷瀑）」や、太古の森「油木美林」など、雄大な自然を感じることができる地域です。



御嶽山からみる雲海



02 自然の恵み！新鮮な食材の宝庫

道の駅「三岳」は、朝採りの山菜や野菜が手に入り、隣接する「みたけグルメ工房 [WEB](#)」で地元のお母さんが、味や素材にこだわった無添加が自慢の手作りお弁当もおすすです。また、約200年前に御嶽信者が持ち込んだとされる「三尾紅梅」という梅が生育し、春には地域を鮮やかに彩ります。

03 ハード、ソフト共に充実した子育て環境

お子さんの年齢や人数によって家賃が減額される「子育て支援住宅」が地域内に6戸あります。1996年築の木造小学校や2017年築の保育園が地域内にあり、中学校は2016年に福島中学校と統合しましたが、通学にはスクールバスを運行しています。中学校の統合以降、地域住民と子ども達との繋がりを大切に考え、年に1回、中学校の生徒と「音楽で結ぶふれあいコンサート」を開催しています。



三岳小学校

こども園

さとテラス三岳 平成26年9月27日に甚大な御嶽山噴火災害が発生しました。当センターは二度と同様の災害が生じぬよう、御嶽山が火山であることを知っていただき、安全に登山するための情報を提供するとともに、噴火災害の伝承と共に、御嶽山のめぐみや地域の歴史と文化を紹介する施設です。

その他：商店は少ないですが、買い物は福島地区へ車で20分程度。



さとテラス三岳

年間イベント／地域活動

- 6月 球技大会
- 7月 御嶽神社例大祭(18・19日)/御嶽山開山式
- 9月 御嶽山慰霊式
- 10月 祖霊祭
- 1月 白川氷柱群(2月頃まで)/太々神楽
- 通年 公民館活動



油木美林



白川氷柱群



太陽の丘公園

霊神碑

三岳地域お役立ちWEBリンク集

このページの [WEB](#) マークのある情報のご確認はこちらから→



センパイ移住者の声

買い物は自宅から車で15分と不便はありません。御嶽山の恵みを感じられる地域でも気に入っています。木曾町のなかでは暖かい気候で、リンゴや梨を作っている農家もいます。私も作物を作っています。猿や猪が畑を荒らすので、対策が必要です。農閑期があるので農業を始めるかたは地域の方や役場などに相談すると良いです。

20代 女性

子育て中です。学校の人数が少ないので、保護者同士もすぐに仲良くなりました。先生が一人ひとりしっかり授業を見てくれます。学童が無料で利用できるのも助かります。近所に優しいかたが多かったり、町営住宅が学校から近く、安心して子育てできます。

30代 女性

移住者も増え、情報交換出来る場所が増えました。困ったら相談できる場所もあり助かります。御嶽山麓の豊かな自然や、星空が綺麗なのも魅力です。

40代 男性

地域の方々、集落の方々との交流ができる地域です。地域性に魅力を感じ、行事や作業などに積極的に参加することで地域との関係をうまく構築できるのではないのでしょうか？ また、最近ではUターンで継業したり、起業をする方もおり、世代交代も少しずつ進んでいます。三岳で起業したいという方には店舗紹介など地域で様々な支援ができます。そのほかにも小規模で農家を営み、道の駅に出荷している方も多くいます。まずは、町営住宅や子育て支援住宅に入居して、三岳地区を気に入っていただければ、住宅を借りたり購入するのがオススメです。



地元中学生がピックアップ!木曾町のおすすめスポット①

開田高原/木曾福島スキー場

開田中学校 2年生 M.S.さん

季節や時間帯で異なる空模様はとても魅力的

開田高原は標高1,100m~1,300mに位置し、夏は涼しくて湿度も低く、冬は寒くて全国の寒さランキング上位の常連です。1年を通し、朝晩の気温差は激しいですが、それによって甘くなるとうもろこしなどの特産品がとても美味しいです。

また、開田高原には高い建設物がないため、空が開けていてよく見えます。季節や時間帯によって異なる空模様、星空はとても魅力的です。そして、町内にはスキー場が2つあり、ウィンタースポーツが楽しめます。景色も楽しみながら滑ることができ、とても印象深いです。



御嶽山を望む木曾福島スキー場



いろいろな空の表情

Q. 木曾町の良いと思うところは?

- ・自然が豊か
- ・学校などで、人数が少ない分、学年関係なく仲が良い
- ・夏は比較的涼しく、過ごしやすい
- ・そばやとうもろこしなどの特産品が美味しく、人気

Q. 木曾町の悪いと思うところは?

- ・路線バスが1時間に1本などと、本数が少ない。
- ・冬はとても寒く、降雪量も多い
- ・友達同士の家が遠い
- ・学校など、人数が少ない分関わる人が限られる
- ・クマ、サル、イノシシなどの害獣がよく出る



地元中学生がピックアップ!木曾町のおすすめスポット②

木曾福島八沢・本町・城山

木曾町中学校 2年生 M.M.さん

友達と自然の中で遊ぶのは楽しい

木曾福島駅から少し歩くと昔ながらの商店街が見えてきます。そのまま歩いていくと木曾町の伝統的な崖屋造りがあります。木曾の限られた土地を利用するため、木曾川に張り出すように家が建てられたそうです。また、木曾町には木曾病院があり、もし病気がけがをしても安心して受診できます。

ほかにも教育施設が充実していて、こども園、小学校、中学校、高校が町内にあります。学校の地域学習は木曾町の様々な事を知ることができ、楽しいです。放課後に友達と自然の中で遊ぶのは楽しいですし、素敵な思い出になるとと思います。



大自然の中にある伝統的な風景

Q. 木曾町の良いと思うところは?

- ・治安がいい
- ・都会に比べてとても静か
- ・山に囲まれていて心身ともに癒される
- ・こども園から高等学校まで町内で通うことができる
- ・ドライブや散歩が楽しい

Q. 木曾町の悪いと思うところは?

- ・公共交通機関が都会に比べ発達していない
- ・冬の雪かきがすごく大変
- ・夏冬の気温差が大きい



住まいを見つける

Find a house



まずは木曾町移住サポートセンターに相談

「住みたい地域or街中・農村」「車の有無・台数」「賃貸or購入」「予算」「水回りの条件(トイレ・台所・風呂)」「間取り・住む人数」「畑あり・なし」「店舗可能」など、住宅の条件を整理しておいてください。木曾町移住サポートセンターが条件に合わせて一緒に探します。

01 まずは情報収集から

木曾町HP内の「移住・住まい」で最新の住宅情報を確認するほか、「木曾町 賃貸住宅(又は売買住宅)」などのキーワードで検索すれば、民間の不動産会社の物件情報も調べることができます。メール・



電話でのお問い合わせも可能です。住宅の条件を整理してご連絡ください。より条件にあった具体的な情報が手に入ります。

📎 空き家情報ページ WEB

木曾町 空き家 🔍

📎 町営住宅入居募集ページ WEB

木曾町 町営住宅 🔍

📞 電話またはメールでのお問合せ

本誌裏表紙に記載のお問合せ先へご連絡ください。

木曾町の家賃の目安
約35,000円～50,000円

📖 見学前に「予約」しましょう

空き家は持ち主が遠方に住んでいる場合が多いため、必ず予約をしてから(1週間～1カ月前)見学にお越し下さい。



02 物件を見学

気になる物件が見つかったら、実際に物件を見学しましょう。建物の状態や間取り、設備はもちろん、周辺の立地など様々な情報を得るために、時間をかけてじっくり見学することをおすすめします。

03 ご相談・調整

住みたい家が見つかったら、価格や設備などの確認をしましょう。設備は地元建築会社などに相談すればスムーズです。

04 ご契約

賃貸契約・売買契約を結びましょう。不動産会社か地元行政書士にお問い合わせする方法があります。



05 木曾暮らし開始!

引越しや手続きがすんだら、いよいよ木曾町での生活が始まりです!もちろんご近所へのご挨拶も忘れずに!

移住に関わる補助金

Subsidy

移住をするにあたって、空き家を購入・改修したりすれば、どうしてもある程度の費用が発生してしまいます。木曾町では、移住者向けの様々な補助金制度を設けています。費用をできるだけ小さく収めるための手段として、是非ご利用ください。



定住促進補助金 (住宅新築・購入)

木造住宅新築等補助金に該当しない住宅の新築又は住宅を購入する方に取得費用を補助します。

☑ 対象要件

- ・申請者が45歳未満であること
- ・住宅の取得費用が200万円以上で居住部分が30㎡であること等

☑ 補助金額

工事部分の延べ面積
3.3㎡あたり **7,500円**
限度額 **80万円**
※移住加算、子育て加算等あり

空き家住宅活用事業補助金 (空き家改修費用の補助)

木曾町へ移住を希望する方が空き家バンクに登録した空き家等を改修して定住する場合、その移住者に対して費用の一部を補助します。

☑ 対象要件

- ① 空き家バンクに登録されている物件を取得または賃借し、定住する方
- ② 空き家バンクに登録されている物件を所有し、自ら定住しようとする方等

☑ 補助金額

対象経費の **1/2以内**
限度額
①: **80万円** / ②: **50万円**
※移住加算、子育て加算等あり

移住後に使える補助金

浄化槽設置整備/維持管理補助金

木造住宅新築等補助金

企業版空き家活用補助金

木曾町新エネルギー普及促進事業補助金

森林エネルギー活用事業補助金

リフォーム資金補助金

その他補助金などの詳細は、右記QRコードまたは冊子「補助金特別号」をご覧ください。

このページの WEB マークのある情報や、各種補助金の詳細はこちらから→



木曾町で働く

Find a job

移住を考えたときに、「移住したらどんな仕事がある?」「移住後の生活は成り立つ?」という不安は必ずついてまわるものです。ここでは、木曾町へ移住した場合の主な働き方や利用できる公的支援についてご紹介します。



木曾町へ移住した場合の主な働き方

企業へ就職する

最も一般的なのは地元企業への就職です。|ターン向け求人や社員寮を持っている企業もあるので、ハローワークや木曾移住定住ポータルサイト「Kiso Kurashi」等を活用し、希望職種にあった仕事を探してみましょう。

[Kiso Kurashi](#) WEB

[ハローワーク木曾福島](#) WEB

木曾町の主な職種

- 建築業
- 木工業
- 林業
- 製造業
- レジャー(スキー・ゴルフなど)
- 旅館・ペンション
- 福祉事業

その他にも蕎麦屋や酒蔵(杜氏)、和菓子屋(伝統菓子)など、木曾ならではの個性豊かな仕事があります。



起業する

すでに仕事のノウハウや展望がある方は「起業」という道も検討してはいかがでしょうか? 創業・起業に特化した支援制度やセミナーなども充実しており、実際に移住して起業された方もいらっしゃいます。

[木曾町商工会](#) WEB
 Tel: 0264-22-3618



木曾町創業支援補助金

年度内に事業を開始予定又は事業の開始から1年未満の方で、認定創業支援等事業計画により実施する創業支援セミナー(創業木曾ゼミ:木曾町商工会主催)を受講した方に、起業に必要な初期期の経費の一部を補助します。

※補助金を申請される場合は、事前に相談が必要になります。

対象条件

- ・起業して町内に事業所を設置しようとする者
- ・3年以上継続して営業できる者
- ・初めて起業する方で、過去に事業収入を得ていないこと
- ・副業ではないこと 等

補助金額

【設備投資等】
対象経費の 1/2以内
上限額 100万円

【手続き等の必要経費】
対象経費の 1/2以内
または 20万円
(いずれか少ない額)

【店舗家賃】
家賃の 1/2以内
(上限5万円/月、対象期間1年間)

創業に向けたリサーチ

木曾町では観光イベントや地域向けイベントが多くあります。販売をする事業を考えているかたはイベントへの出店で地域の反応を見ることが出来ます。ふらっと木曾で行われる「きそだにマーケット」、空き店舗を短期間借りて出店できる「お試し店舗」など創業に向けたリサーチをしながら商品開発をすることも可能です。



[きそだにマーケット](#) WEB

[お試し店舗](#) WEB



フリーランスとしてリモートワークする

プログラマー、ライター、デザイナー等の方は、リモートワークをすることも選択肢の1つです。木曾福島地域ではサテライトオフィス・コワーキングスペースを備えた施設「ふらっと木曾」があり、職業や地域、世代を超えた交流が生まれているほか、イベント開催やシェアキッチンでの営業もできます。

[ふらっと木曾](#) WEB

「木曾町で働く」に関する [WEB](#) マークのある情報や、各種補助金の詳細はP21へ→

04 木曾町に知り合いをつくる

移住者交流会やイベント参加などで知り合いをたくさん作ることで、仕事を紹介してもらえることがあります。また、木曾町移住サポートセンターでは企業見学のサービスを行っており、林業の伐採現場や製造業の工場、食品加工所などなかなか見ることができない現場へ入ることもできます。詳しくは木曾町移住サポートセンターへお問い合わせください。



05 Wワーク・副業

木曾町には季節限定のアルバイトやパートがあります。朴葉巻加工、とうもろこしや白菜の収穫、スキー場、酒蔵の杜氏手伝い、旅館など、木曾ならではの仕事もあります。いろいろな仕事をしたいかたや副業をしたい方におすすめです。ハローワークの求人には出ないので、知り合い経由で探るか木曾町移住サポートセンターへお問い合わせください。



06 就農する

木曾町の農業は、「御嶽はくさい」「とうもろこし」「木曾和牛子牛」「そば」など、冷涼な気候条件を活かした農業が営まれています。農業は自然環境に左右され、厳しさを感じることもある反面、農業の素晴らしさを体感することができます。様々な就農支援制度もありますので、豊かな自然に囲まれ、自分の「農」への想いを木曾町で活かしてみたいかたがでしょうか？



木曾町で農業をやりたい方へ



① 相談する

まずは、相談窓口(役場建設農林課・木曾農業農村支援センター)へご相談ください。就農の大まかなイメージをお伝えいただければその方針に沿ってご案内致します。



② 就農方法の検討

就農方法はだまかに【① 専業農家をめざす】【② 法人就農をめざす】【③ 兼業農家をめざす】の3通り。②や③からスタートし、農業経験を積んでから①へ変更することも可能です。



③ 体験就農に参加

実際に就農する前に、就農体験を行う事をおすすめします。長野県農業大学校での就農体験研修や移住交流施設旅情庵の併設農園での体験研修などをご案内いたします。



④ 住まいの確保

木曾町で就農することを決めたら、家探しの準備をしましょう。木曾町で新規就農する場合、開田高原西野に専用の住宅(開田高原就農トレーニングハウス)もご紹介します。

専業農家をめざす

1-2年目は里親研修制度を利用し、地域の農家で実際の農業を学ぶことをおすすめします。並行して長野県農業大学校で実践経営者コースを履修いただきます。研修期間中は、最大2年間就農準備資金(国補助)。就農後には最大3年間経営開始資金(国補助)の交付を受けることができ、木曾町独自の就農支援制度は最大5年間受けることができます。



法人就農をめざす

耕作をしている農業生産法人への就職、または大規模に耕作を行っている専業農家で就農し、賃金を得ることで生計を立てつつ、農業について学んでいただけます。経験を積み、将来的に独立して専業農家をめざすプランもあります。

兼業農家をめざす

働きながら、自給自足程度の規模で行い、楽しみながら農業を行うプランです。**農地法の改正に伴い農地取得の下限要件が無くなり、小面積でも農業を始めやすくなりました。**小規模で農業を始めて、将来的に規模を拡大し農業で生計を立てることも可能です。

就農後のサポート

就農後も継続して、町・県・JAなどの関係機関が講習会や経営指導、農業資金の借入などの支援を実施いたします。また農業を行う上で、地域の農地を維持するための農業用水の泥上げや畦畔の草刈りを地域の農家が協力して行う作業など、行政機関が直接関わらない取り決めもあります。不明な点は役場建設農林課や各支所にお問い合わせいただき、必要があれば地域の農家へお繋ぎいたします。



開田高原就農トレーニングハウス WEB

長野県農業大学校 WEB

www.pref.nagano.lg.jp/nogyodai/

デジタル農活信州「信州農ある暮らし」 WEB

noukatsu-nagano.net/farming-life/



木曾駒高原 自然村

滞在型市民農園(クラインガルテン)です。農園と住宅施設で、貸別荘ではありません。年間活動プログラムへの参加、農園の維持管理などの利用要件を満たす必要があります。

木曾農会 WEB

新開・大原地区を拠点に新規就農者の支援のほか、休耕農地の活用、農体験、里山整備などを行っています。

木曾 木望農会



「木曾町で働く」に関するWEBマークのある情報や、各種補助金の詳細はこちら→



子育て

Child care

木曾町は自然が暮らしのすぐ近くにあり、のびのびと子育てするにはとても良い環境です。開田こども園では「信州やまほいく」を取り入れているほか、町では子育て教育課を設置し、こども園から小中学校までの子育ての支援や相談を行っています。ここでは出産から育児・就学までの子育てに関わる情報や各種サービス、木曾町ならではの支援制度などをご紹介します。



出産を控えている方

スマイルママ

年4回、先輩ママさんや助産師、保健師、栄養士を交えて一緒に出産や子育てのお話をします。出産・育児に関する町の制度についてのお話や、マタニティレシピ試食、マタニティヨガの体験も実施しています。詳しくは、木曾町保健福祉課へお問い合わせください。(TEL:0264-22-4035)

妊婦訪問

妊婦の方々が健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産が迎えられるよう、妊婦健診を実施しています。初産の妊婦・10代の妊婦・外国人の妊婦の方等を対象に、各地区担当の保健師が、妊娠中から出産・育児の相談にお応えします。

妊婦交流会

3～6か月の赤ちゃんが集うベビーマッサージの教室の見学や先輩ママ・赤ちゃんとの交流を実施しています。

赤ちゃんが生まれたら

新生児訪問

出生後1ヶ月くらいまでに、町の保健師が家庭訪問します。赤ちゃんの体重を測ったり、育児の悩みやお母さんの悩み、予防接種や町の乳幼児健診や教室についてもお話しています。心配なことやこれからの育児について分からないことなどなんでも結構です。一緒に解決していきましょう。

児童手当 WEB

木曾町内に住所があり、中学校3年生までの国内に住所がある児童を養育している方に支給されます。2024年10月からは高校生年代まで拡充されます。申請方法など詳しくは木曾町教育委員会へ

町外・県外に里帰り出産する方

- ①早めに帰省先の産院を決めましょう。
- ②保健福祉課へ事前にご連絡ください。
- ③出産後に必要な届け出や手続きを確認しましょう。

また、里帰り先(県外)で新生児訪問・予防接種・乳児健康診断を受けた場合は木曾町保健福祉課へご連絡ください。(TEL:0264-22-4035)

出産祝い金

WEB

☑ 対象条件

木曾町に住民登録をしてから6ヶ月以上経過している、又は出産後も引き続き6ヶ月以上住所を有する見込みのある方

☑ 補助金額 ※全て新生児1人につき

【第1子目・2子目の児童】

現金10万5千円/電子クーポン5万円分

【第3子目以降の児童】

現金15万5千円/電子クーポン5万円分

ファミリーサポート事業

援助を受けたい方と援助を行いたい方が、お互いに助け合いながら子育てをしていく登録制のボランティア事業です。地域で安心して子育てができる環境づくりを目指しています。

ご依頼の条件:生後6ヶ月から12歳までのお子さんをもち、育児の援助を受けたい方など、詳細は WEB をご確認ください。

援助の内容(例)

- こども園等開始前、終了後に子どもを預かる・保護者の病気や急用時、冠婚葬祭時などに子どもを預かる。
- 家事を行うことが困難な妊婦、または産後間もない母親で、休養が必要な時、掃除、洗濯、買い物等を行う。など…

利用案内

平日・土・日・祝祭日:8:30～17:00(時間外は要相談)

病後児(平日のみ):8:00～18:00

料金:無料

キャンセル:予定時間の1時間前まで



木曾町ならではの支援

2016年木曾町は、暮らしに木製品を取り入れ、子育てに生かす「ウッドスタート宣言」を行い、地元の木工職人がヒノキやホオの木で作った誕生祝い品を新生児に贈る事業を始めました。 WEB

3～5ヶ月頃のお子様へ『木曾義仲のお椀&スプーン』

離乳食用のお椀とスプーンです。お椀は、木曾義仲が使った二つ引き紋がモチーフ。お母さんの持ちやすさを重視しており、離乳食後にお子様も自分でも使えるような形にしています。



お茶椀・スプーンセット

1歳の記念に、どちらか選べる

①『木曾馬のブル&プッシュトイ』

木曾のヒノキで、木曾の職人が作ったおもちゃ。木曾町の名物でもある木曾馬が山の中で木材を運ぶ姿(馬搬)がモチーフです。



木曾馬のブル&プッシュトイ

②『トリタマ』

木曾に生息する野鳥をモチーフにしたおもちゃです。



トリタマ

子育てに関する WEB マークのある情報や、各種補助金の詳細はP26へ→

こども園

こども園は町内の各地域に1つずつ、4施設(木曾こども園、日義こども園、開田こども園、三岳こども園)あります*。土曜保育や早朝保育・延長保育が可能です*。各園で特色のある保育に取り組んでおり、町内の高校や専門学校との異年齢交流、地域の方の協力をいただきながら、サツマイモの苗植えから焼き芋会のほか、郷土食づくり体験、木曾馬の里への散歩など、木曾の自然や文化と触れ合うさまざまな取り組みを行っています。

なかでも開田こども園は「信州やまほいく」認定(下記参照)のこども園として独自の活動を行っています。 [WEB](#)

※保護者の就労等の状況によって条件が変わります。



信州やまほいく 開田こども園

信州やまほいくとは

屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、知力と体力も同時に高めることができるとされる全国的に注目を集める新しいスタイルの保育・幼児教育です。多様な自然や地域の環境を活かした活動を通じて、子どもたちの知的好奇心や感性が豊かに育まれ、さらに異年齢の集団活動の中でコミュニケーションや社会性、自尊心や自己肯定感の向上も期待できます。長野県では、2015年より「信州型自然保育認定制度」をスタートし、より親しみやすいよう「信州やまほいく」を愛称として普及に取り組んでいます。 [WEB](#)

開田こども園

広い園庭には、多様な遊びや経験が生み出される環境があります。夏は小川に入って水の冷たさを感じ、井戸の水で料理ごっこ。また、遠くまで水を流すために、どうしようかと友達と力を合わせて試行錯誤する姿が見られます。大きい築山では、上から転がったりお尻滑りを。雪が積もるとそり滑りと、全身で楽しめます。滑りやすい急斜面を、子どもたちは足を取られながら何度も何度も登っていきます。畑では様々な野菜を育て、収穫した野菜を給食で食べたり、自分たちで調理することも。味噌や地域の漬物である「すんき」づくりも経験します。やまほいくは、自然だけでなく地域の人や文化に触れる経験も大切にしており、老人クラブやデイサービスの方々と交流、神社のお祭りには、毎年お神輿を作って参加しています。また、木曾馬と触れ合う機会もあります。これからも、存分にやまほいくの経験や遊びを通して、子どもたちから「やりたい」「もっとやりたい」という湧き上がる気持ちを大切にしながら子どもの成長を支えていきます。



一時預かり

ご家庭で一時的にみる事ができない場合にお子さんをお預かりします。木曾町には3つの施設があり、いずれもこども園に併設されています。詳細は [WEB](#) をご確認ください。

「てのひら」

木曾町新開4236-5 木曾こども園併設
TEL:0264-22-3301

「やじろべえ」

木曾町開田高原末川2792 開田こども園併設
TEL:0264-42-1212

「ひよっこ」

木曾町三岳6634-1 三岳こども園併設
TEL:0264-46-2152

その他、親子で利用できる施設

「やじろべえ」「ひよっこ」 開放日 [WEB](#)

親子で過ごせる場所として一時預かりのスペースを提供しています。雨や雪などの日に過ごせる場所としてご利用できます。申し込みは不要。保護者が必ず付き添ってください。【利用時間】月～金 9:00～12:00 【利用料金】無料

利用案内

平日:8:30～17:00(緊急の場合はこの限りではありません)
土・日:9:00～15:00
対象児童:小学校就学前の幼児(生後6ヶ月以上)

【利用料金】

平日:2時間まで 500円(町外者1,200円)～
8時間まで1,600円(町外者4,800円)
土・日:1時間当たり600円(町外者800円)
町外居住者の方は登録料2000円が別途かかります。

【お申し込みについて】

- ・預り希望日の3日前までに申し込み願います。
- ・利用する前日までに必ず面談を行ってください。
- ・時間変更やキャンセルは早めにご連絡ください。

「あそびのひろば」 [WEB](#)

保育士が常駐しており、お子さん同士、親同士でも交流できる場所になっています。保育士にちょっとした相談やこども園の相談なども。食事スペースがあり、お子さんと一緒に食事もできます。【場所】木曾福島保健センター1階(木曾町福島5764-5) 【対象】0歳児から5歳児(未就学児)までのお子さんと保護者 【利用時間】平日9:00～12:00/13:00～16:00 【利用料金】無料

義務教育

小学校は4地域、中学校は3地域(2024年現在)にあり、地域ごとの特色を取り入れた教育を行っています。地元の方と協力して稲作体験、木曾音楽祭に合わせてアルプスホルンやアーティストを呼んでの演奏会、木曾馬の飼育、登山、スキー教室、地域で活躍する方々によるキャリア教育、木曾の歴史を学ぶ授業、木工体験や林業体験など地域の人や団体と協力して授業を行っています。 [WEB](#)

入学準備補助金

小学校又は中学校(特別支援学校の小学部又は中学部を含む。)に入学を予定している児童等を養育している保護者が対象となります。支給額は最大で20,000円(所得に応じて50,000円の場合もあり)。詳しくは木曾町教育委員会へお問合せください。 [WEB](#)

転校について

転入:在学中の学校で発行する「在学証明書」と教育委員会から発行される「転入学校指定通知」をもって指定された学校へ行く。**転出:**在学中の学校の発行する「在学証明書」もらい、役場窓口で転出手続きをする。転出先の市町村教育委員会で入学の手続きをする。

学童保育 [WEB](#)

利用をご希望の場合は、下記までお問い合わせください。

- **福島学童クラブ** 木曾町福島5471
TEL:090-2429-1972
- **開田高原学童クラブ** 木曾町開田高原末川2792
TEL:080-2335-8255 または0264-42-3331
- **みたけ学童クラブ** 木曾町三岳6634-1(旧三岳中学校内)
TEL:090-4392-7577または0264-46-2001
- **日義学童クラブ くすくす** 木曾町日義1622-1
TEL:090-2241-1441または0264-26-2301

高等学校・専門学校・大学 ※2024年現在

木曾青峰高等学校 WEB

木曾青峰高校には、普通科、理数科以外に森林環境科とインテリア科があります。森林環境科では、木曾地域で盛んな林業の実習や郷土料理の実習、木曾馬の乗馬、炭焼き実習などを行っています。インテリア科では、建築や木工などの技術を学び、家具作りやデザイン制作など実践的な授業を行っています。また、森林環境科とインテリア科では外部の社会人を講師に迎えて、より社会で通用する実践的課題に取り組む授業を行っています。

専門学校 WEB

信州木曾看護専門学校・長野県林業大学校・上松技術専門学校(上松町)

大学(1時間圏内)

信州大学農学部(伊那市)・松本大学(松本市)など

補助・支援

木曾郡内の高等学校へ通学費の一部を補助のほか、私立高校に通学する生徒への補助があります。

木曾町入学準備補助金事業 WEB

木曾町高等学校生徒通学費助成事業 WEB

木曾町奨学金返済支援事業 WEB



木曾青峰高校 未来の学校

障がい・難病のお子さんのために

町内に障がいのあるかたが通える長野県木曾養護学校や、福祉事業所が6軒あり、障がいの状態に応じて養育・日常生活訓練などを行っています。その他にもNPO等が行う施設もあります。補助・支援：日中一時支援/身体障がいのお子さんの医療費補助(育成医療)など詳細や補助金については木曾町保健福祉課へお問い合わせください。

ひとり親家庭などのために

児童扶養手当(木曾町教育委員会・子育て教育課)/生活保護の受給(木曾町保健福祉課福祉係)/母子父子寡婦福祉支援金の貸付/母子生活支援施設の利用など(木曾保健福祉事務所)/生活福祉資金の貸付(木曾町社会福祉協議会)

子育てサークル

木曾で子育てをしている人や子育てを応援して下さる方達のサークルです。おさがり広場や里山あそび、畑づくり、行政などとの意見交換、SNSでの情報発信などを行っています。会員同士の交流会やイベント運営を通して、子育ての悩みを話したり解決するヒントを得る場にもなっています。木曾町全体を拠点にしている「木曾子育てまちづくりの会 WEB」、開田高原地域を拠点にしている「開田高原子育てサークル」、三岳地域を拠点にしている「一本桜の会」があります。



「子育て」に関する
WEBマークのある情報や、
各種補助金の詳細はこちら→



木曾おもちゃ美術館

体験型の美術館

実際に木のおもちゃを手にとって遊べる体験型の美術館。世代を問わず楽しむことができます。赤いエプロンをきた「おもちゃ学芸員(ボランティアスタッフ)」の方が、おもちゃの遊び方を教えてくれます。来館者もスタッフも、みんなで交流を楽しむ美術館です。約100年余になる木造校舎。伝統と、木の素晴らしさを感じるこの場所で、郷土食体験、工芸体験など、木曾の伝統文化にふれる「ふるさと体験」に「木のおもちゃの魅力」が加わりました。



写真：長屋詠一郎

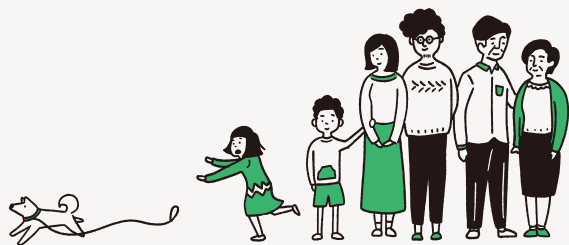
木育の拠点

木曾五木(さそごぼく)は、「ヒノキ」「アスナロ」「ネズコ」「サワラ」「コウヤマキ」の5種類です。木々は立派に育ち、豊かな森林をつくりだし、水や空気や自然環境を整えて木曾谷を潤します。木曾の材木は古来より重宝されてきました。おもちゃ美術館では建築材をはじめ内装・おもちゃにも木曾産材をふんだんに使用しています。良質な木材と巧みな技術により、来館者が楽しみながら木の魅力や温もりを体感できる「木育」の拠点 おもちゃ美術館です。

ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館

木曾町 新開6959
TEL:0264-27-1011





交通



電車

町内にはJRの駅が3駅(木曾福島駅・原野駅・宮ノ越駅)あります。JR中央線で名古屋方面と塩尻・長野方面へ発着しており、木曾福島駅は特急しなのが停車します。1時間に1〜2本の電車が停まり、終電は22時台です。



バス

町内バス

木曾福島駅・木曾病院を起点に町内を運行しています。1時間に1本で最終運行は19時台。幹線バス:200円/1回、巡回バス:100円/1回 乗合タクシー:100円/1回(要予約)

高速バス

木曾福島駅と新宿駅を往復し、町内では木曾福島駅・福島関所・日義木曾駒高原で乗車可能です。週末の朝と夕方発の1日2本で、所要時間は約4時間です。



タクシー・レンタカー

町内に2社タクシー会社があり、木曾福島駅での乗車が電話での送迎が可能です。レンタカーは木曾福島駅前に民間のレンタカー店があります。また、70歳以上の方、公共交通の利用に支障がある方を対象にした、タクシーを利用した送迎サービス「木曾町福祉乗合タクシー」もあります。利用料:1回の降車ごとに700円

病院

総合病院

【福島】長野県立木曾病院

診療所

【三岳】木曾みたけ診療所 【日義】木曾ひよし診療所

個人医院

【福島】原内科医院 【開田】田澤医院

歯科診療所

【開田】開田高原歯科診療所 【福島】JA木曾歯科診療所

歯科医院

【福島】鈴木歯科医院/あすなろ歯科医院/スマイル歯科クリニック
【日義】はらの歯科医院/ゆうあい歯科医院
【三岳】原歯科医院

福祉

社会福祉協議会

デイサービス(2件)/ホームヘルパー/在宅介護支援センター

民間の福祉・介護施設

福島(3件)・日義(2件)・三岳(1件)・開田(1件)

防災と災害

災害時の対応

区や自治会ごとに集会場が避難所に指定されています。住んでいる区や自治会に避難場所を確認しておきましょう。また、年に1回地域ごとに避難訓練が行われているので参加しておくことをお勧めします。詳しくは、総務課危機管理室または各支所にお問合せください。

消防団

消防組織法に基づいて設置されている町の消防機関です。木曾町に定住しているか、勤務をされている18歳以上の方ならどなたでも入団可能で、居住地域や会社などで近い場所の分団に所属が決めるのが一般的です。その任務は火災の出動に限らず、自然災害発生時の避難誘導や行方不明者の捜索など多岐にわたります。入団をお考えの方は、お近くの消防団員または総務課危機管理室にご相談ください。

総務課 危機管理室

地震や火事、噴火災害などに対応する役場内の部署。防災無線などで町全域に警告や指示の放送を行なっています。

TEL:0264-22-4280

【日義支所】TEL:0264-26-2301

【三岳支所】TEL:0264-46-2001

【開田支所】TEL:0264-42-3331

その他

運転免許の住所変更・更新

【木曾警察署】TEL:0264-22-0110

〒397-0002 長野県木曾郡木曾町新開2324-1

【中南信運転免許センター(塩尻)】TEL:0263-53-6611

〒399-6461 長野県塩尻市宗賀桔梗ヶ原73-116

パスポートの申請・住所変更・更新

【木曾地域振興局パスポート窓口】TEL:0264-25-2211

〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島2757-1

木曾暮らし 豆知識

木曾で暮らす上での必需品や、あったら便利なもの、知っておくと安心なことなど、役に立ちそうな情報をまとめました。

市街地と郊外で異なる生活形態

市街地

スーパーやコンビニなど日用品の買い物に不便はあまりありません。総合病院をはじめ各種医療機関も近くにあり、徒歩・自転車だけで生活できる場所もあるほか、電車・バス・タクシーなどの交通機関を使いやすい立地です。

郊外

郊外はバスは1時間に約1本と少ないので、買い物・通院など、様々な場面で車が必要となります。不便な点もありますがその反面、田畑が広がり、農業や家庭菜園を楽しんだり、豊かな自然の醍醐味を味わうことができます。

買い物

街中である福島地域にはスーパーが2店舗、郊外は地区ごとに商店が2~3店舗あります。日用品以外の物は伊那や松本・塩尻など周辺都市部へ。



クルマは必須！軽トラはあと便利

自動車は田舎暮らしではなくてはならない存在です。特に軽トラは農作業や薪運びなど様々な場面で重宝します。また郊外は敷地が広いので特に心配はないですが、福島地域の市街地では駐車スペースが少ない物件も多いので、住まい探しの際は必ず確認しておきましょう。地域ごとにガソリンスタンドがあり、郊外ではこまめな給油が必要です。国道・県道ともに山間部を通っているため、カーブや狭い道が多く、狭い道のカーブでは減速して走行しましょう。雪が降ったら冬用タイヤはもちろん、さらに減速して走行するのが安全です。



外仕事で必要なアイテム

草刈機・カマ 地区単位で草刈りをする 경우가、草刈機の準備はしておく便利です。

軍手・作業用手袋 作業時があると便利。地区行事などでも必要なので用意しておきましょう。防水タイプの手袋もあると尚よし。

作業着 作業時の定番ファッション。非常に動きやすく、畑・山・掃除などで活躍してくれます。ホームセンターなどで購入可能。

熊鈴 山に入る場合に熊よけに鈴を付けますが、過信は禁物！十分な注意を心がけましょう。

冬の生活

雪かき

雪かき用スコップが必需品。木曾町内のホームセンターで購入できます。範囲が広い場合は小型の除雪機が便利です。また、国道・県道・町道は朝早くから除雪をしてくれるので、除雪車が通る時間をご近所さんに確認しておき、車は邪魔にならないよう駐車場へ停めましょう。雪かき後は、車が出られるように敷地内を雪かきする必要があります。余裕がある人は、隣の家を手伝うと喜ばれ、地域交流のきっかけにもなります。

街中と郊外では異なる部分があるので注意

市街地は雪かきする範囲は少ない反面、雪を寄せる場所も少なく、路上などにはみ出してしまうと事故につながることがあり注意が必要です。分からない場合は近所の人や組長・役場職員に確認しましょう。一方、郊外は雪かきをする範囲も広く、とても重作業になります。車が出られる範囲・歩道など最小限の雪かきで済むよう必要なものは近くに置いておくといいでしょう。また、家庭用の除雪機もあり、大変だと思ったら購入するのも方法の一つです。



凍った道に注意！車の冬用タイヤは必須

木曾は12月頃から雪が降り始める地域です。また、雨などで濡れた路面が凍結するので、冬用タイヤが必需品となります。タイヤ交換が不安な場合は、ガソリンスタンドで交換してもらうことも可能です。タイヤのチェックや購入は9月頃から余裕をもって行なうといいでしょう。ただし、冬用タイヤにしたからと言って過信は禁物です！また、徒歩での移動でも日陰の道など凍った道路や階段などはとても滑りやすく危険です。滑りにくい靴にする・ゆっくり歩くなど、十分注意しましょう。



凍結・寒さ対策

クルマ 早朝は窓ガラスが凍結します。カバーをかけるなど凍結対策が必要。

水道 凍結すると使えなくなり、氷が解けると破裂して水漏れを起こすことがあります。アパートなどは管理会社が行ないますが、個人の住宅を借りている場合、元栓の締め方・水の抜き方・凍結防止帯などの確認をしておきましょう。凍結防止帯があっても一週間以上家を留守にする場合は元栓を締めて、水抜きが必要です。万一の時のために建設会社や水道会社などの連絡先も確認しておく安心です。

食べ物 室内であっても寒い部屋に野菜や水・調味料を置いておくと凍ってしまうことがあります。温度が一定に保たれる冷蔵庫に入れるなどしておきましょう。

服装 まずは少しオーバーなくらいの防寒がおすすめ。慣れてきたら自分に合った調節をしましょう。

木曾暮らしを楽しむ

Enjoy Life in Kiso!

自然を楽しめる要素が盛りだくさん!

木曾町には山や川、そして四季折々に楽しむことができる要素が盛りだくさん!ここでは木曾暮らしにおすすめの趣味をご紹介します。せっかく木曾で暮らすなら、色々なことにチャレンジしてみましょう!



登山・トレッキング

初心者からベテランまで楽しめる

町内には御嶽山・木曾駒ヶ岳への登山口があり、特に御嶽山はロープウェイを利用すれば初心者でも日帰りで頂上を目指すことができます。その他にも30分~1時間程度で散策できる山道もあり、気軽にトレッキングも可能です。本格的な登山から気軽な散歩までさまざまなフィールドを楽しめる、山好きにはたまらない環境です。



ウィンタースポーツ

気が向いたら即ゲレンデへ!

町内には「木曾福島スキー場」と「開田高原マイアスキー場」の2つのスキー場があり、1時間以内でアクセス可能。町民割引やシーズン券があります。周辺エリアにもスキー場が点在していて、ファミリーからエキスパートまで気軽に雪山を堪能することができます。



キャンプ

究極の「山と暮らす」を楽しもう!

町内には6つのキャンプ場施設があり、夏のハイシーズンを中心に賑わいをみせています。また、RVパークを併設している施設もあるので気軽にキャンプを楽しむことができます。



溪流釣り

清流・木曾川で魚と戯れる

木曾川へ流れる支流が何本もあり、街中や上流の沢などさまざまな環境で溪流釣りを楽しむことができ、アマゴやイワナを求めて県外からも釣り客が訪れます。また、八沢地区には子ども釣り専用区が設けられています。※釣りをするには漁業証が必要になります。禁漁地域や私有地に隣接する釣り場があります。注意して釣りを楽しみましょう。詳しくは、木曾川漁業協同組合(0264-22-2580)まで



写真・絵画

絵になる風景がそこかしこに!

歴史的な建物が残り、自然豊かな木曾町には写真を撮りに訪れる人が多く、季節や自然、イベントなど、年間を通じて多彩な木曾の風景をシャッターに収めることができます。

※農村地域は見た目の境界線が曖昧で、空き地が私有地である場合があります。可能な限り許可を得てから撮影しましょう。



食・ものづくり

自然の恵みからつくり出す楽しみ

塩を一切使わずに、御嶽山麓の在来赤カブの葉を乳酸発酵させた「すんき」など、木曾には奥深い食文化がたくさんあります。また、曲げわっぱや漆をはじめとした木工文化も残っており、「ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館」では気軽に木工体験を楽しむことができます。木曾の自然からもらった素材を生かして、ものづくりや料理を楽しんでみてはどうでしょう



その他、こんな趣味も

家庭菜園…自分らしい畑づくり。滞在型市民農園や体験講座があります。

サイクリング…高原地域がオススメ。車道に注意してください。

神社仏閣・石碑めぐり…町内に100年以上続く寺院や地域特有の石碑が点在しています。

ゴルフ…町内に3施設のゴルフ場があり、いろいろなコースが楽しめます。

乗馬…木曾馬の里で乗馬ができます。競走馬と違い、小柄ですが力持ちで人懐こいのが特徴です。

昆虫採集…木曾は南に住む昆虫の北限と北に住む昆虫の南限が交わる日本でも珍しい地域で、全国から研究者が訪れています。※保存種の採集はできないので注意しましょう。

移住者へのサポート

Support

移住サポートセンターによるワンストップ対応

移住サポートセンターの担当が、問い合わせ・地域案内・企業見学・先輩移住者相談・住宅探しなどワンストップで対応します。移住後は、困りごと相談や地域への紹介なども支援します。移住前後で、スムーズに町になじむお手伝いをします。



移住者におすすめの支援制度

空き家住宅活用補助金

空き家等を改修して木曾町に移住される方、空き家の売却・賃貸を検討している方を対象に、費用の一部を補助します。(最大100万円)
詳しくはP17へ→

木曾町結婚祝金

婚姻届出時に木曾町に住所を有しているご夫婦にお祝金として町内で利用できる電子クーポン20,000円分を交付します。
お問合せ:木曾町町民課

定住支援住宅・子育て支援住宅

町営住宅として、定住支援の住宅をご用意しています。木曾町の気候や環境に慣れるまでこちらでの生活をオススメします。また、移住サポートセンターが運営しているシェアハウス(5名まで)や試住住宅(1棟)も利用できます。
お問合せ:
木曾町町民課・木曾町移住サポートセンター



移住者、移住希望者や地域の人と知り合える場

地域の人と知り合える場

- 📌 春の蔵開き(4月)
- 📌 木曾義仲旗挙げ祭り(8月)
- 📌 木曾の手仕事市(9月) WEB
- 📌 開田高原軽トラ市(8-9月)
- 📌 きそだにマーケット(偶数月) WEB
- 📌 開田ずんね市(年3-4回)

移住者、移住希望者と知り合える場

- 📌 キソ移住交流会(不定期開催)
- 📌 こども園移住体験ツアー WEB

オーダーメイド移住体験ツアー

希望者の要望に合わせて地域をご案内、空き家の案内をします。希望日や希望内容を木曾町移住サポートセンターへご連絡ください。



移住ステップガイド

Step guide for Migration

01 聞いてみよう

まずは電話・メール・SNSなどで木曾町移住サポートセンターにお問い合わせください。

02 知る、調べる

木曾町では年間通して観光イベントがあります。また季節によって生活の様子が変わる事もあるので、春夏秋冬それぞれ見学してみましょう。

03 試してみる

合いそうな町だと思ったら、いろいろ試してみましょう。試住はもちろん、職業体験やインターン、農体験、先輩移住者の話、交流会など様々な方法があります。

04 じっくり悩む

ちょっと足を止めて考える時間をつくってみましょう。他の地域と比較したり、周りに相談してみましょう。他の地域を見学したり、もう少し町のことを知る時間を作るのも大切です。

05 住むための準備

移住を決めたら家探しや仕事探しなど、準備などを始めましょう。

→ P16 住まいを見つける

→ P18 木曾町で働く

06 木曾町での生活開始

役場で手続き・転校手続き・住所の更新など。区長、組長さんを紹介してもらい地区のイベントに参加しましょう。自己紹介をして地区の方に知ってもらうことで、様々なことがスムーズに進むことが多くあります。まずは積極的に交流することを心がけましょう。

07 困ったら相談

町・地区では、当たり前のように行われている作業・イベントがあります。もし少しでも疑問や質問があればその地区の区長・組長に聞いてみましょう。聞きにくければ、移住サポートセンターや役場町民課・支所などにご相談ください。疑問をそのままにしておくと、大きなトラブルやストレスになることがあります。あまり溜め込まずに気軽に聞いてみましょう。